



学校評価特集号  
平成29年3月  
京都市立柏野小学校  
校長 尾松 廣明

## 第2回 学校評価へのご協力ありがとうございました

2月初めに、今年度2回目の学校評価をお願いしました。お忙しい中、回答いただきありがとうございました。みなさまからの評価とご意見を集約し、今年度の成果と課題として整理しました。回答率は**74%**（前回は79%）でした。

◎…よくあてはまる ○…どちらかといえばあてはまる △…どちらかといえばあてはまらない ×…あてはまらない  
「◎」か「○」という結果が出た項目を、「達成している」項目と考えています。

	保護者の方々に回答をお願いした評価項目	◎+○の割合
学校の取組について	① 学校は、教育方針や取組を学校だよりや HP、懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。	100→ <b>97%</b>
	② 学校は、一人一人の子どもを大切にしたい学校づくりに取り組んでいる。	97→ <b>98%</b>
	③ 学校は、様々な取組や行事を通して、家庭・地域と連携し、子どもの教育を進めている。	99→ <b>99%</b>
	④ 教職員が熱意をもって教育を進めていることが保護者に伝わっている。	97→ <b>99%</b>
	⑤ 学習の内容や進度を懇談会や学年・学級通信等によってよく知ることができる。	94→ <b>98%</b>
	⑥ 子どものことについて学校に気軽に相談できる。	93→ <b>93%</b>
	⑦ 教職員は、保護者や来訪者などにていねいに対応している。	100→ <b>99%</b>
子どもについて	⑧ 子どもは、楽しく学校へ行っている。	97→ <b>98%</b>
	⑨ 子どもは、しっかりとあいさつができています。	87→ <b>87%</b>
	⑩ 子どもは、学習内容が理解でき、基礎的な学力が身についている。	83→ <b>87%</b>
	⑪ 子どもは、宿題など家庭学習を決められた時間（15分×学年）取り組んでいる。	70→ <b>75%</b>
	⑫ 子どもは、家でも15分くらいは読書している。	38→ <b>45%</b>
	⑬ 子どもは、日頃から体を動かすことをいとわない。（スポーツや外遊びを含む）	87→ <b>88%</b>
家庭で	⑭ 家庭では、早寝早起き、持ち物の用意など、基本的な生活習慣が身に付くようにしている。	90→ <b>87%</b>
	⑮ 家庭では、子どもの話を受けとめ聞くようにしている。	100→ <b>99%</b>

左側は前回7月の結果

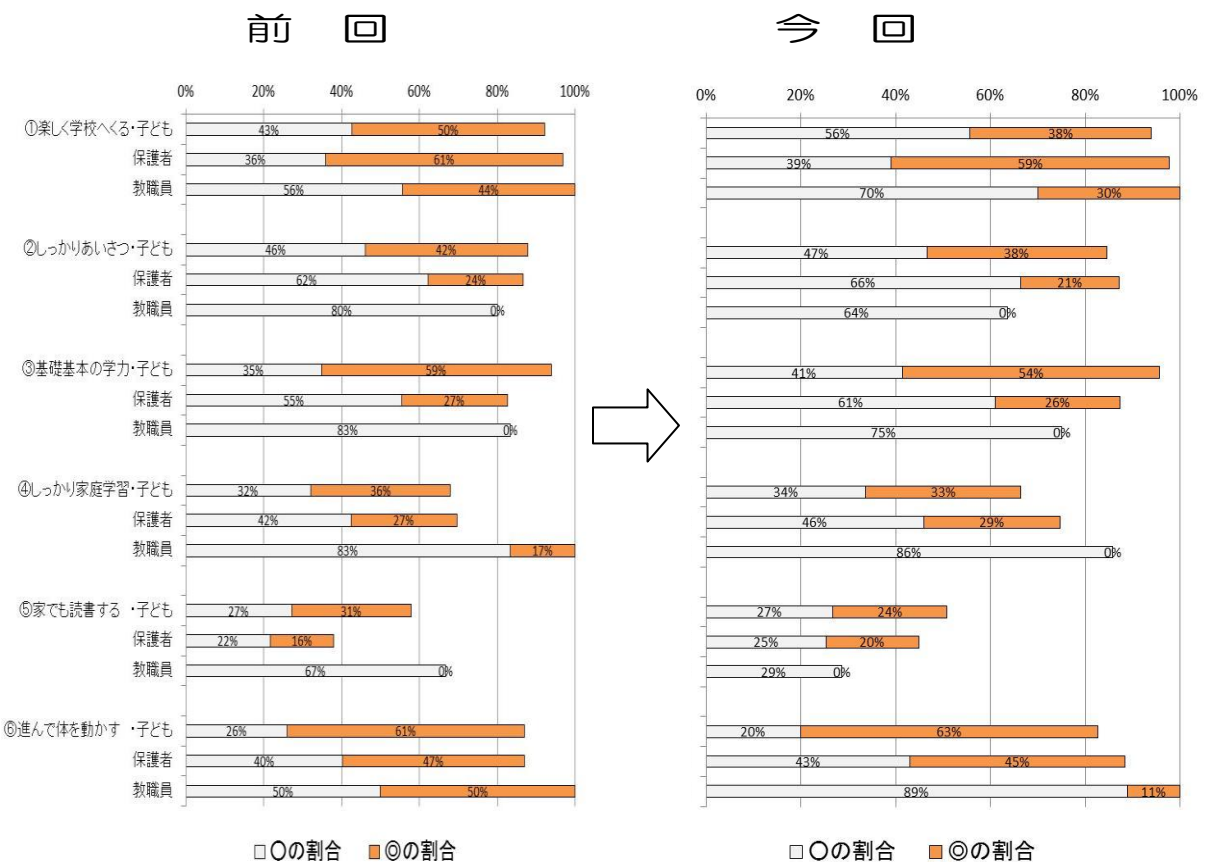
＊例年、達成率の低い「⑪家庭学習」「⑫家庭での読書」以外は、ほぼ9割以上と高い達成率でした。その「⑪家庭学習」「⑫家庭での読書」も前回からはポイントが上がりました。

## ◇「子どもたちのようす」について … 代表的な6項目の結果を比較

この6項目は、子ども・保護者・教職員の評価に 共通する内容の項目です。

評価項目の主旨	◎+○の割合 左側は前回					
	子ども		保護者		教職員	
①楽しく学校へ来ている。	92→	<b>94%</b>	97→	<b>98%</b>	100→	<b>100%</b>
②しっかりとあいさつしている。	88→	<b>84%</b>	87→	<b>87%</b>	80→	<b>64%↓</b>
③基礎基本の学力を身につけている。	94→	<b>96%</b>	83→	<b>87%</b>	83→	<b>75%↓</b>
④しっかり家庭学習に取り組んでいる。	68→	<b>66%</b>	70→	<b>75%↑</b>	100→	<b>86%↓</b>
⑤家でも読書している。	58→	<b>51%↓</b>	38→	<b>45%↑</b>	67→	<b>29%↓</b>
⑥すすんで体を動かそうとしている。	87→	<b>83%</b>	87→	<b>88%</b>	100→	<b>100%</b>

5ポイントを超える変化に↑↓



### ◆楽しく学校へきている

達成率は三者とも前回とほぼ変わりませんが、◎の割合がそれぞれに下がっています。△や×の評価の要因を除いていけるようにきめ細かく取り組んでいきます。達成率（◎+○）100%を目指しています。

◆しっかりあいさつをしている

子ども自身はやや下がり、保護者はほぼ前回と同じ。教職員はかなり低い達成率となりました。学校運営協議会委員の方々からは、7月の70％から30％へと大きく下がりましたが、「きちんと挨拶できますね。」という来校者からの声もあります。個による差、場面による差も大きいと感じます。今後も、みんなが自然に気持ちのよいあいさつができるよう働きかけていきましょう。

◆基礎・基本の学力を身につけている

達成率の順が、子ども→保護者→教職員と下がっていき、教職員は前回から大きく下がって75％に留まっています。子どもたちの「わかる」という達成感や成就感に見合った学力が付くよう努力しなければなりません。これからも、児童の実態に合わせたきめ細かい指導を行い、すべての子に基礎・基本の学力がつくよう取り組んでいきます。家庭学習を含め、ご家庭の協力をお願いします。

◆しっかり家庭学習に取り組んでいる

子どもの結果は横ばい、保護者の結果はやや上がり、教職員の結果は大きく下がりました。複雑な結果で、家庭学習の定義や意識がずれているのではないかと考えられます。前回もお知らせしましたが、学年に応じた時間を目安に、宿題だけでなく課題意識をもって自主的な家庭学習ができることを目指しています。どのような手立て（学習の方法）がよいかなどお悩みがあれば、ぜひ担任にご相談ください。

◆家で読書している

保護者の結果のみ上がりましたが、毎回、学年を問わず達成率そのものが低い「家庭での読書」時間です。今回も半分の子が15分さえも本に向かってないという結果となりました。教職員の低評価もそれを感じさせるものですが、読書が好きな子もいますので個による差も大きいものと考えます。来年度も、学校・家庭共々しっかり働きかけていきましょう。春休みは読書するよい機会です。本に親しむ時間や機会をぜひつくりましょう。

◆進んで体を動かそうとしている

今年度からの新しい項目で、子どもたちの体力・運動能力面の意識や実態を探ろうとしています。結果は、三者とも前回とほぼ同じですが、保護者、子ども共に学年が上がるほど達成率が下がり、高学年では、保護者、子ども共に80％を切ってしまいます。

●子どもたちの評価結果より・・・

「学校や学級のきまり・約束を守っているか」という項目では、91％→92％と規範意識が高い面がうかがえます。「友だちと仲よくできていますか」では、92％→99％とうれしい結果がでています。今後も安心して学校生活のあらゆる場面を見守っていきたいと思います。

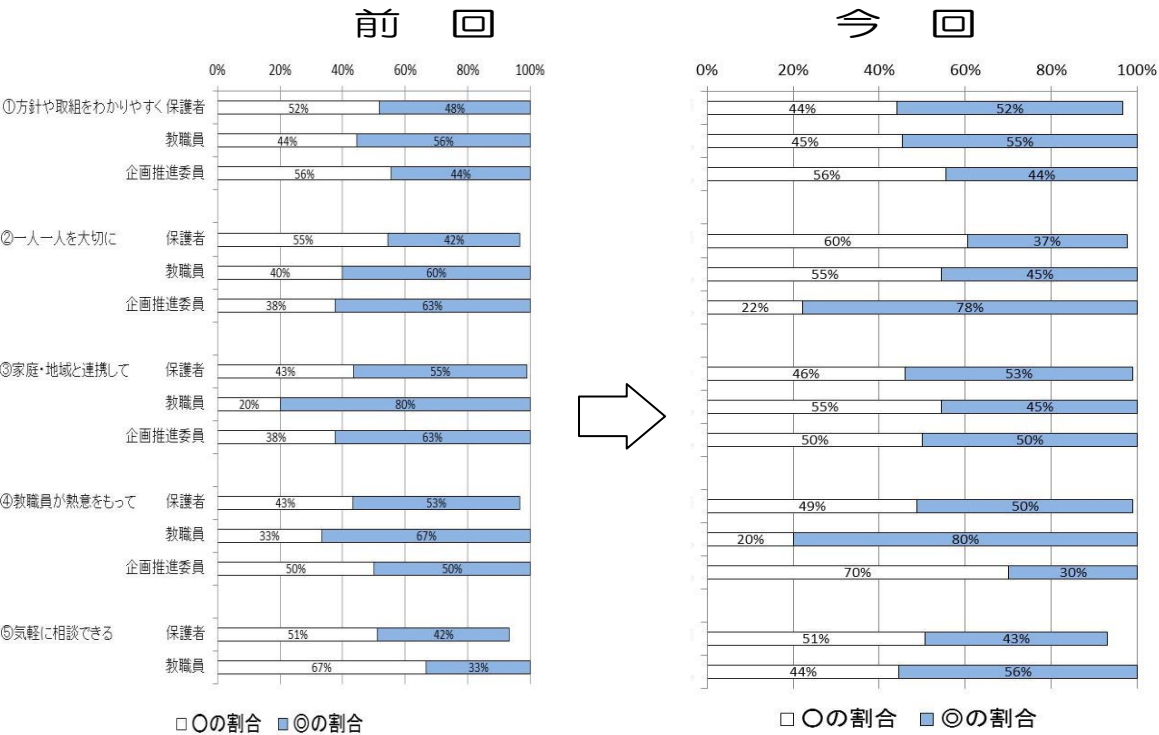
「自分の考えや思いをしっかり話せるか」という項目では68％→67％、それに応じた教職員の「子どもにコミュニケーション能力が育っている」という項目では70％→60％となっており、大切な力として今後もいろいろな場面を設定して伸ばしていかなければならないと考えます。「先生に何でも話せるか」は69％→72％、であり、課題・反省点としてとらえ、改善していきます。

◇「学校の取組」について … 代表的な5項目の結果を比較

この5項目は、保護者・教職員・企画推進委員の評価に 共通する内容の項目です。

項 目 の 主 旨	◎＋○の割合				左側は前回	
	保護者		教職員		企画推進委員	
①方針や取組をわかりやすく伝えている。	100→	97%	100→	100%	100→	100%
②一人一人の子どもを大切にした学校づくり。	97→	98%	100→	100%	100→	100%
③家庭・地域と連携して教育を進めている。	99→	99%	100→	100%	100→	100%
④教職員が熱意をもって教育を進めている。	97→	99%	100→	100%	100→	100%
⑤子どものことについて気軽に相談できる。	93→	93%	100→	100%		

5ポイントを超える変化に↑ ↓



◆すべて90％以上の達成率で、今年度も学校の取組を概ね評価いただいたものと考えますが、◎と○の割合の増減など気になることもあります。記述欄には、保護者の方から担任・学校の取組に対する感謝の言葉もいただいておりますが、反対に至らぬ点のご指摘もありました。真摯に受け止め、改善努力します。また、学校運営協議会の企画推進委員からは、今年もいくつかお褒めの言葉をいただきました。来年度も、保護者や地域の皆様と一緒に柏野教育を発展させていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

学校評価は、無記名のアンケートではありません。柏野の子どもたちを、学校・保護者・地域が一体となって育てていくための当事者としての責任あるご意見を求めるものです。ご理解ください。